

市民フロンティア



URL <http://www.cskobe.com/>

E-MAIL info@cskobe.com

発行人：中村順子 編集人：梅木利恵

【CS神戸最前線】

「NPO、これからの10年」 ～ 一人ひとりが生かされる社会の実現に向けて ～

中村 順子 （NPO法人 コミュニティ・サポートセンター神戸 理事長）



神戸の NPO にとってこれまで、震災被災者と寄り添いながら共助という市民性を育ててきた 10 年でした。復興活動が NPO 法に重なりつつ魂に深く刻まれこれが原点となっています。

それから 10 年、NPO ほど急成長を遂げた分野はかつてありません。NPO 法が制定されて以降この 10 年で 35,000 法人が誕生して日本随所で公益サービスを展開し、その受益者は 3,000 万人を超えると推測されています。NPO で生計を立てている常勤スタッフは推定 4 万人、サービスや経営、寄付等各々のスタイルで関わるボランティアは 100 万人以上います。子どもから高齢者、環境から救援、地域経済から国際交流、消費生活から人権問題と活動の分野は多方面に亘ります。兵庫県内の 1,300 法人は 2007 年度で 130 億円の事業規模となりました。今や NPO の存在は、8 割以上の人の知るところになりました。

とはいえ人材・資金・ネットワークの不足等が NPO の重い課題としてあります。新しい公の実現に寄与する勇気ある人材が不足しているために資金調達もままならず、人と組織そしてセクターを結びつけるネットワーク構築もなかなか十分には進みませんが、無理ありません。100 年も官の管理下にあった公の領域に、市民が法人格だけをまわって参入したのですから。しかし、あせることはありません、希望はあります。

自分の持てる能力や時間を社会のために使いたい希望者は 50% 近くいます。今や団塊世代は 1 日 8 時間の可処分時間という財産を持って会社から放たれたのです。就職先に NPO を選択する学生もいます。震災をきっかけとしない若者が NPO で活躍しています。財産を公益に寄付したい個人も増加傾向にあります。政府セクターは法令の策定や事業委託など政策の形成からサービス供給にいたるプロセスで NPO に期待を寄せています。企業セクターは CSR（企業の社会的責任）や WLB（ワークバランス）運動の中でようやく NPO と価値観の出会いが始まりました。日常の相談や行政・企業との企画打ち合わせで確かな手ごたえがあります。

社会を構成するセクターの交流が活発化し、市民個人も納税者、投票者、勤労者、消費者、生産者、そして公益の担い手と多彩な活動の場を持つようになってきました。社会資源のダイナミックなマッチングが本格化する時代をもっと身近に引き寄せたいと望みます。

少子高齢産業遞減の日本にあって、異なったセクターが協働し新しいサービスや価値を創造しなければ、ギスギスした冷たい社会に陥ってしまいます。公益法人制度改革で非営利セクターへの参入は選択肢が広がりますが、NPO に所属する私たちは草の根活動も大切にしながら、一人ひとりが生かされる社会の実現に向けて、新しい公の中核になりたいものです。10 年先になってどんな社会を実現できたかを振り返ってみるのが楽しみです。

2008 年度 (第 19 回)

通常総会を開催

2008 年度 (第 19 回) の通常総会が、2009 年 3 月 29 日 (日) 午前 10 時より東灘区民センター会議室 2 にて、開催されました。

総会には、尼川洋子、石川両一、足立勝、今田忠、岡本仁宏、金芳外城雄、国枝哲男、坂本登、佐野末夫、末村祐子、立田英雄、中村厚子、中村順子、松下忠義の各正会員が出席しました。(書面による出席は、當間克雄、長谷川京子、星野裕志、安元邦夫の各正会員。)

【定款変更について】

2009 年 3 月 3 日に「介護サービス情報の公表」制度 兵庫県指定調査機関として選定されたことを受けて、2009 年 4 月 1 日に同機関として指定を受けるに当たり、定款において、特定非営利活動の種類として保健、医療又は福祉の増進を図る活動、事業として「介護サービス情報の公表」調査事業を追加することになりました。

【09 年度活動方針について】

1. まちづくり活動について

指定管理者制度の受託事業として受託している神戸市立 JR 住吉駅前自転車駐車場管理運営業務 (2005 年度～)、駐輪指導業務 (2008 年度～) の継続を行います。今年が 4 年目で最終年度となる東灘区民センター小ホールは次年度に向けたさらなる挑戦の年度として管理運営業務に当たります。まちとまのりのくるくるコミュニティ事業は、ひょうご環境創造協会の環境保全活動助成金を得て 3 年目をむかえます。マッチングシステム事業は、3 年間の蓄積とネットワークを活かして、エリア NPO の側面支援、ISO26000 などの研究、企業とのネットワーク拡張を目指します。くるくる発電所プロジェクトは、2009 年 3 月 5 日開設された「グループホーム・ケアウイング弓の木」の屋上に移設して、従来どおりの環境学習の視察研修事業を実施します。

2. 保健、医療、福祉活動について

今年度よりスタートする介護サービス情報の公表調査事業は、初年度約 600 事業所の訪問・調査・報告を実施します。このために、多くの調査員を確保、

教育研修し、他調査機関とも連携してレベルの高い一体化した公表調査事業を行います。トータルケアシステム/NPO サービスセンターは、新ユニメイト養成講座を WAMNET 事業と連携して行います。

高齢者自立支援に関する調査事業 (WAMNET/福祉医療機構) は、「団塊の世代」に介護サービス事業所の訪問・調査をしてもらい、利用者にとって納得しやすい事業所選びのマニュアル作成の一助とする新規研究事業です。**コミュニティフレンド啓発事業**は、2008 年度に先行実施した知的・精神を基本としたハンディのある方の「コミュニティフレンド」「まちなかのおともだち」づくりの周知・啓発と定着化に努めます。**復興住宅支援事業**は、兵庫県災害復興公営住宅高齢者元気アップ活動支援事業の助成を受けて、新規事業として実施します。

3. 支援活動について

生きがいしごとサポートセンター神戸東 (ワラビー) として、前年度に引き続き、無料職業紹介事業や生きサポ合同の就業相談会等を実施すると共に、起業塾、就業トライアル、広報支援セミナー、セカンドライフ・アドバイザー養成講座、CB 団体視察ツアー等を新設します。**東灘区自立支援協議会**は、しょうがい者の自立支援のために、ネットワークの一員としての活動の継続を行ないます。新規の**緊急雇用対策事業**では、国・県の雇用促進事業に則り、求人開拓を主体とした新規事業をワラビーとの連携により実施します。**NPO 大学**は 08 年度に引き続き、本校とサテライトの 2 コースを開講し、今年度は特に中間支援組織の中堅スタッフを対象に支援スキルのブラッシュアップを目指します。8 年目の継続になる**NPO データマップ**は、新しい運営委員を迎えて、登録団体数の増加、中身の更新、充実化を図ります。**いきいき研修プログラム**は、新規事業として (財) 神戸いきいき勤労財団と協働で「地域のためのしごと」をテーマに連続講座を実施し、人材育成のみにとどまらず、地域に関わる仕事への就業・起業という形でのアウトプットを目指します。**あしや市民活動センター支援**を引き続き支援します。**木ロユニバーサルセンター支援**は、2010 年 7 月竣工のセンター直轄事業であるレストラン開設準備やしょうがい者の雇用支援につなげる人材育成事業等を継続実施します。市民活動サポート基金は、社会のニーズを反映した助成金提供が行われるよう活動します。

第11期 収支予算

(2009/4/1~2010/3/31)

＜収入の部＞ (千円)

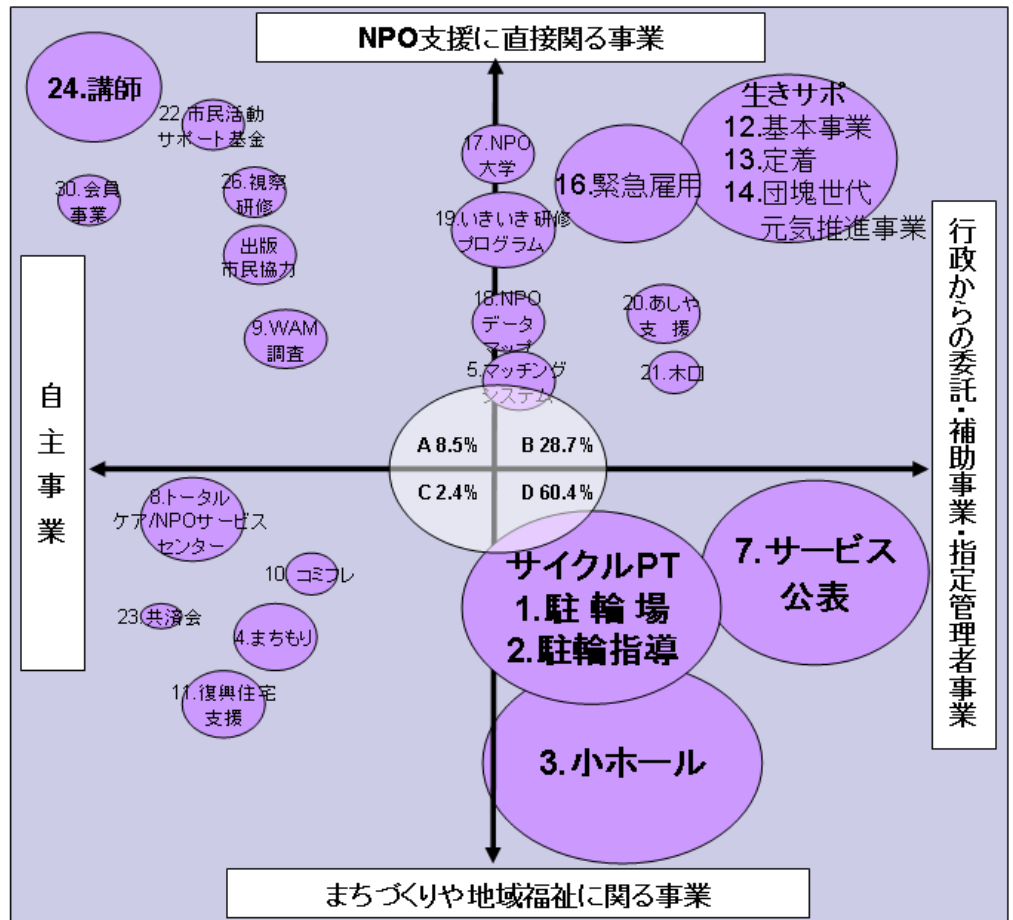
項目	額
総務機能収入合計	3,926
事業収入合計	80,838
市民活動および市民事業の起業と支援	5,334
組織運営の支援	1,080
職業紹介事業	18,200
地域活性化の事業	37,038
「介護サービス事業の公表」調査事業	18,719
その他法人の目的達成に必要な事業	467
収入合計	84,764

＜支出の部＞ (千円)

項目	額
事業支出合計	71,988
市民活動および市民事業の起業と支援	3,481
組織運営の支援	132
職業紹介事業	18,200
地域活性化の事業	32,800
「介護サービス事業の公表」調査事業	17,326
その他法人の目的達成に必要な事業	49
一般管理費合計	12,330
支出合計	84,318

収支差額 446千円

2009年度における事業構成図 (予算レベル)



4. 総務について

CS神戸の本部機能として総務・会計・庶務を行い、事業の円滑な推進を全般的にサポートし、会議や研修、その他内部組織強化のための活動を行います。

【人事について】

3月末日、彩都事業の収束に伴い丸鬼 一夫氏、日下恵子氏が、また新しい道へ進まれる佐々木 圭氏 (総務担当)、菅 祥明氏 (サイクルビット責任者)、藤原 航氏 (理事会事務局) が退職されます。

2008年度 第4回理事会を開催

2月25日(火)午後3時～午後5時、東灘区民センター 会議室5にて開催されました。同会は足立、石川、金芳、坂本、末村、中村厚子、中村順子の各理事計7名全員出席にて成立し、以下の議案が可決・承認されました。また、松下監事にも陪席していただきました。

【決議事項】

1. 『定款変更』の件
2. 2009年度以降の中期計画の件
3. 新給与体系の件

第13回 春のスタッフ研修会 開催

3月29日(日)午後1時～午後4時、東灘区民センター 会議室2にて、CS神戸のミッションを達成するための中期計画の具体化を目的に開催し、理事・監事7名を含め総勢26名が参加しました。

①2008年度から2009年度に向けて、中期計画の確認を中村理事長から発表 ②事業部・プロジェクト別に分かれての討議 ③セクション別討議の報告を行い、2008年度を振り返り、2009年度の活動に活かすための「私の1企画1実践」のシートを出席できなかったスタッフも含め、全スタッフが提出し完了しました。



(担当：梅木利恵)

保健・医療・福祉活動分野(トータルケア)の事業について

はじめに

トータルケア事業は、2006 年、介護保険枠外サービスを紹介・実施するシステムとして発足し、現在は介護保険サービスと協調して高齢者の生活支援に必須事業となりました。さらにトータルケアシステムとしては、新たにしょうがい者へのケア(コミュニティフレンド啓発事業)と地域福祉の基盤整備のための事業(介護サービス情報の公表調査)にも拡大発展していきます。

事業の紹介

- ① 独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業；テーマ「トータルケアと自立支援度マッピング」(平成 21 年 4 月から 1 年間)。この事業は新ユニメイト講座の受講者に座学ばかりではなく、自らの足で介護施設などを訪問し(フィールドワーク)、情報を収集し、利用者の尊厳にかかる自立支援度をマッピング(調査研究)することとし、その前後に講演会とフォーラムを実施します。初めての試みであるフィールドワークからは、利用者にとって必要な情報が紹介できるものと楽しみにしております。団塊の世代が中心となりこのプロジェクトを進めることから、まさに元気老人を創る刺激のある研究になりそうです。
- ② 「介護サービス情報の公表」事業：平成 18 年 4 月の法令に基づいた調査です。これは、介護保険制度の基本理念である「利用者本位」「高齢者の自立支援」「利用者による選択(自己決定)」を現実のサービス利用において保証するための新しい仕組みです。利用者による介護サービス事業所の選択を支援する目的として、介護サービスの種類ごとに共通の項目の情報が定期的に公表されます。公表される情報のうち、調査情報については、調査員が当該事業所を訪問し、その情報の根拠となる事実を確認し公表します。CS 神戸は、この調査事業を行う機関の一つとして指定されました。調査員は約 40 名となります。このたび、ご協力をいただく調査経験者のひとりからは、「始めは否定的/敵対的であった事業者が、数度の訪問調査から記録の必要性を理解し、事業所の担当者から感謝され、この調査業務にやりがいが出てきた」との感想を聞くことが出来ました。サービスを高齢者に提供する事業所側には必須な内容を調査することの重要性を認識しています。

③ コミュニティフレンド啓発事業：

特定非営利活動法人PACガーディアンズの指導のもとコミュニティフレンド啓発事業を開始しました。しょうがいのある人の“まち中の私のともだちづくり”として「コミュニティフレンド養成講座」を通じフレンド候補者としょうがい者の両者から、ニーズとシーズ、提供できるサービスについての調査・分析を行い、3 月の講座とワークショップには、述べ 61 名が受講しました。今後は、しょうがい者のための各種福祉団体との研究会等の実施、コミュニティフレンドの周知および定着を図ります。



10代～60代が“ともだち”を疑似体験

④ NPO サービスセンターの事業：

介護保険制度ではまかないきれない生活支援を介護保険枠外サービスとして行っています。近所には頼みにくい、第三者には頼める日常生活に必須なサービスの内容です。比較的小元な高齢者が増加すればそれだけ、このサービスは増加していきます。しかし、1 時間あたりの利用者負担額は介護保険よりも高く、利用者に負担を強いる結果になっています。これも介護保険と同様に保険で一部補填することが可能なら、どんなに高齢者にとって住みやすくなるでしょう。

- ⑤ 復興住宅支援事業：阪神大震災の後、多くの復興住宅ができ、その地域が自主的に復興に向けて一丸となり進めてきた団体がほとんどですが、まだ進んでいない住宅があるようです。高齢化するとまさに他人様には関心度がうすくなります。そんなところに居場所を創り、お手伝いすることを支援します。月に 1 回はコーヒー

を沸かし、何かイベントをと計画していきます。

おわりに

CS 神戸は、本格的に保健・医療・福祉活動を展開していくことをもとめられています。全ての事業を軌道に乗せていくために、CS 神戸全員の協力とたゆまぬ努力が必要であると思います。

(担当：小林清隆)

【講演会】

「こころよいエイジングのために－スウェーデンの最新事情－」

日時：2009 年 5 月 9 日(土)13:30～16:00

場所：全労済兵庫県本部 5階(JR神戸駅から徒歩 7 分)

講師：E. アンベッケン先生(関西学院大学人間福祉部教授)

※参加は、会場の都合により先着受付 100 名様とします。

(問合せ先…トータルケアシステム推進協議会事務局Tel078-841-0323)



CSRフォーラム報告

— 68名が協働について熱く議論！ —

マッチングシステムのフォーラムも2月19日（木）の開催で第3回を迎えました。企業とNPOの協働を進める本事業は総括フォーラムを開催してきました。全労済兵庫県本部のご厚意により会議室のご提供もいただき、多彩なプログラムを通じて68名が協働について熱く語り合いました。



企業、行政、NPOから68名が集結

今回はとくに「CSRの普及・促進」をテーマに据え、本システムの成果報告との2本立てとしました。兵庫県の推進する“参画と協働”の理念はマッ

チングシステムにも貫かれています。企業とNPO、さらには行政や社会福祉協議会・労働組合などとの連携は始まったばかりですが、地域の課題解決のために当事者の結びつきが社会からも求められています。

フォーラムでは3つの先進事例が報告されました。いずれも団体・地域の特色や強みがよく活かされた取り組みであり、「わがまち」をより良いものにしようと企業とNPO、行政等もタッグを組んだ事例に参加者もうなずくことしきりでした（先進事例：①芦屋における協働型の公園管理、②企業とNPOの協働による「夫婦感謝の日」、③行政と企業と住民の協働による「森づくり」）。



ワークショップで“夢”を語ろう！

報告のあとは全員で「夢づくりワークショップ」を行ないました。「こんな地域を創りたい！」「地域の課題を解決したいけど…」等々、夢や問題点をみんな

で共有しました。ただし、フォーラムの目的は議論することばかりではありません。そのように顔と顔を合わせて関係を結び、地域の中に「小さなマッチングシステム」を築くことが大切だと考えています。

このシステムも開始から3年が経過しました。フォーラムで始まった「エリア主義」に立脚して、地域ごとにきめ細かな協働が展開することを目指します。公（おおやけ）の担い手としてNPOや企業に期待が寄せられています。そのサポートが出来るよう、マッチングシステムが地域に欠かせない存在として充実を図っていきます。（担当：菅 祥明）

生涯現役シンポジウムを実施！

— 堀田力さんの講演に380名が聞き入る —

地域での課題は多様化する中、地域での仕事や活動に携わる担い手はまだまだ不足しているのが現状です。また、シニアや退職前世代を対象とした地域デビュー講座も多々開催されていますが、実際の地域活動へのマッチングやフォローアップは十分とは言えません。そんな中、講座や体験をメインにした人材育成から、活動や仕事へのマッチングまですべてを包括したものが「(仮)いきいき研修プログラム」です。

(財)神戸いきいき勤労財団からの委託事業として08年度は調査事業からスタートしました。その一環として開催したのが「生涯現役シンポジウム～しごとを通じて地域に貢献、人生いきいき！～」。

テレビのコメンテーターでもおなじみの堀田力さん（さわやか福祉財団理事長）をお迎えして基調講演を行いました。参加者は380名を超え、堀田さんの「本当にやりたいことに飛び込んで、同窓会で話せる“近況”を持ちましょう」、「人のためにというより自分のためにする活動が地域貢献にもなる」といったメッセージに聞き入っていました。



シンポジウム後半は神戸におけるソーシャルビジネスの事例紹介。NPO 法人多言語センターFACIL の吉富志津代さん、NPO 法人しゃらくの小倉譲さん、株式会社神戸介護ケアウイングの足立勝さんの3名にご登壇いただきました。

修了後のアンケートでは、「自分も何か始めてみようと思った」、「好きなことを楽しくやって地域貢献をしてみたい」といった感想が多く寄せられました。

そして2009年度はいよいよ研修プログラムがスタートします。ご期待下さい！（担当：飛田敦子）

！ 仲間に会える。仕事・収入につながる。社会に関わる。-----

＜研修プログラム実施します！＞

年齢・性別を問いません！

終了後には、地域活動や地域のしごとに参加できます！

予 告
6/24～

研修の流れ



市民活動サポート基金

— 助成金交付の3団体が決定！ —

3月11日（水）、今年度2回目の市民活動サポート基金の選考委員会を開催し、3団体・合計65万円の助成金交付を決定しました。

NPO 法人ジンジャークラブ（神戸市東灘区）

理事長／長谷川道子さん、助成額／100,000 円

精神しょうがい者やその家族の支援団体として発足したジンジャークラブ。「食事会」と「癒しの連句会」が主な活動です。今回は 5・7・5 と 7・7 を皆で付句していく連句会での活動、特に季語集の作成や地域への広報費として助成金の交付が決定されました。

NPO 法人チャレンジひがしなだ（神戸市東灘区）

理事長／高島順子さん、助成額／300,000 円

「親亡き後も地域で自立生活をしてほしい」という想いが原点となり、障がい者の宿泊訓練事業に力を注がれています。宿泊訓練を行うための施設費およびボランティア謝金としての助成金交付が決定されました。

みんなのひろば（茨木市）

代表／日下恵子さん、助成額／250,000 円

CS 神戸が携わってきた彩都まちづくり事業。2008 年度ですべての事業は終了となりましたが、地域情報誌「ひろば便り」を発行し続けるべく、現地在住の元スタッフの方々が中心となり立ち上げたのが任意団体「みんなのひろば」です。情報誌発行費として助成金交付が決定されました。

（担当：飛田敦子）

ひょうごボランティアプラザ中間支援活動助成事業

4 団体のコンサルテーションとコミュニティビジネス事例集を作成しました！

今までにも様々な講座や調査事業で何度か助成をいただいた、ひょうごボランティアプラザの「中間支援活動助成」。2008 年度から枠組みが変更になり、NPO 団体へのコンサルテーションが必須事業として義務付けられました。もちろん団体独自で申請する選択事業の枠もあり、CS 神戸ではコミュニティビジネス事例集の作成を行いました。



コンサルテーションは CS 神戸が NPO 大学事業等でも経営手法として力を入れてきた SWOT 分析および BSC（バランススコアカード/顧客、業務プロセスなど 4 つの視点から事業戦略を立てる）をツールとして行いました。対象団体は、「NPO 法人男女共同参画ネット尼崎」、「NPO 法人愛逢」、「NPO 法人実用日本語教育推進協会」、「NPO 法人がる」の 4 団体。ワークショップ形式で、ミッションの確認→ビジョンの設定→SWOT 分析による現状分析→課題抽出→BSC による事業戦略の設定、とブレイクダウンし、スタッフ皆が今後の計画を共有しました。

選択事業のコミュニティビジネス事例集作成事業は NPO 法人あしや NPO センターと共同で、兵庫、関西、全国合わせて約 250 事例を集約しました。CS 神戸理事の石川両一先生にもアドバイザーとしてご参加いただき、福祉、農業、子ども、アート、教育など幅広い知識を活かして、多くの情報提供をしてくださいました。中間支援組織のスタッフ向けの事例集で一般公開を前提にしたものではありませんが、事務所にて閲覧が可能ですのでご希望の方はぜひご来所ください！

（担当：飛田敦子）



2009/2/9 「JICA 自然からの復興総合戦略研修」受入



2008/12/26 大掃除を終え満足気なサイクルの男衆

フォト
ギャラリー



卒業のメッセージ

菅 祥明（すが よしあき）

誰もいなくなった事務所に鍵をかけて、暗くなった街を歩いて帰る。ビルの階段を降りながら、今日の自分の働きは何を生み出したろうかと考えていた。はるか以前、熱さを抱えながら多くの人が活動していた時のことを思い浮かべていた。途切れずに続く組織の連なりの中で、渡されたバトンをスタッフのひとりとして受け止められただろうか。

フランスへ渡った先輩に中村さんはかつて、「みんな、タンポポの綿毛のように飛び立っていくのよ」と語ったとか。その言葉を胸に秘めながら5年間、人と地域に寄り添ってきた。先導しときに伴走してくれた方の顔は忘れられない。私にもようやく、神戸を離れるときがやって来たようだ。

佐々木 圭（ささき けい）

私がCS神戸の会計業務に携わり、約2年。右も左もわからない私に、業務内容や仕事への考え方、コミュニティ・ビジネスの重要性等、様々なことを根気よく丁寧に教えていただきました。色々と勉強になることばかりでした。時にはビルの薄暗い勾配の急な階段を登ることが重く感じることもありましたが、今では良い思い出となっています。

CS神戸のスタッフの皆様には数多くご迷惑をおかけしたにもかかわらず、よくしていただき、大変感謝しております。益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

九鬼 一夫（くき かずお） 日下 恵子（くさか けいこ）

「彩都コミュニティひろば」は、3月31日をもって無事業を終了しました。5年にわたるCS神戸のコミュニティづくりは、彩都住民にとってかけがえのない宝物になったと思います。私たちも、今にして思えば何でもありの傑作な事を一杯させていただきました。営業マンに大学の先生、各種の司会に講師など等…眠れない日もありましたが、本当におもしろかったです。

CS神戸の研修で理念を学び、考えさせられ、バックアップを受けて初めてできたことだと思います。皆様どうもありがとうございました。CS神戸の益々の発展をお祈りします。



左から菅さん、佐々木さん、藤原さん／歓送迎会



日下さん、九鬼さん／彩都コミュニティひろば

藤原 航（ふじわら わたる）

昨年の10月からあしやNPOセンターと掛け持ちで働いておりましたが、4月からあしやNPOセンターの専従職員となりました。

CS神戸での在籍は、日数にして90日間でしたが、非常に密度の“濃い”時間を過ごさせていただきました。

“荷物の運搬”、“にぎやかし”、“3時のおやつ要員”が主な業務でしたが、同時にCB事例集、神戸いきいき勤労財団関連の調査、復興住宅支援などの貴重な業務に関わることが出来、幸せに思っております。

今後も“主な業務”を中心にCS神戸のお手伝いが出来たらと思っています。ありがとうございます。

新人スタッフのご紹介（生きがいごとサポートセンター神戸東 求人開拓担当）

重政 和洋（しげまさ まさよし）

「生きがいしごと」。この言葉に魅せられて“生きがいしごとサポートセンター”を訪問して、緊急雇用業務を紹介いただき、3月からお世話になっています。未だ短期間ですが、今までの感触では予想通り、かなりの困難さを伴いそうです。とは言え、入ったからにはその名の通り、必要な人々に「生きがいしごと」が提供でき、結果として自分にとっても「生きがいしごと」になることを目指します。直前まで会社人間一筋にやってきましたので、地域社会では全くのフレッシュマン（言い換えれば、ど素人）です。

皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



左から重政さん、山本さん

山本 好克（やまもと よしかつ）

私とCS神戸との出会いは、2年前に起業研究員としてお世話になったのが始まりです。その後、別の仕事につきましたが、その職場ではCS神戸に居たときのような感激や感動が感じられませんでした。そんな時に以前CS神戸でお世話になった方からお誘いの電話をいただき、とても嬉しく感じました。

今の仕事もなかなか大変ですが、仕事を求めて来られる就業相談者のために、より多くの求人情報を集め、充実させたいと思っています。与えられたチャンスだと思って、全力で頑張りたいと思っています。また楽しい出会いや感動を味わいたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



【NPO/NGOのファンドレイジングのためのパーティ】

最終回



ぼたんの会 第7回 “夜会”

“竹下景子さん詩の朗読と音楽の夕べ”

冬に地中で活動を始め5月初旬に豊かな花を咲かせる牡丹、離れたものをつなぎ合わせる釦、二つの意味から『ぼたんの会』と名付けられました。異人館に囲まれたロケーションで音楽とエンターテインメント、美味しい食事と飲み物でお迎えさせていただきます。

日 程：2009年5月21日(木)18:30～(開場18時)
会 場：北野ガーデン (中央区北野町2-8-1)
出 演：ゴスペル、南インド古典舞踊、マジックなどの方々
会 費：10,000円
主 催：ぼたんの会実行委員会(CS神戸もメンバーです)

※CS神戸でチケットの取扱いをしています。

お気軽にお問合せ下さい。(電話078-841-0310)

【有料講座】

まちとモリの交流'09 in 丹波!

～のんびり…田舎体験・農業体験・たんば探検…しませんか～

「まちとモリの生活アトリエネットワーク協議会」主宰の丹波と阪神の交流事業です。現地に交流用の農地をお借りし、米・野菜づくりを中心にしながら交流をすすめています。

丹波地域や自然、田舎暮らし、農業に関心のある皆さん、ぜひご参加ください。一緒に「たんば」を満喫しましょう。

日 程：4月～12月の16回(毎月第2・第4土曜か日曜を基本)

参加費：神戸集合3,000円/回(交通費・保険代含む)

現地集合1,500円/回(保険代含む)

登録費：2,000円(前期のみ・後期のみ場合は1,000円)

※単発参加の場合(コース登録しない)は4,000円/回

※詳しくは、CS神戸 担当:国枝、橋口までお問合せ下さい。

(電話078-841-0310)

【ワラビー主催の講座】

団体設立スキルセミナー!

NPO

ワラビーは、毎年ある兵庫県のコンパ審査会に無事に合格し、神戸東部担当として6年目をスタートしました。今年度は、新任の狩野センター長をはじめ、村上・末村両専門相談員、飛田コーディネーター、中村スーパーバイザーが皆さんの生きがいごとのお手伝いをいたします。

年度初の講座は、以下の通り開催します。

〈日 時〉5月16日(土) 13:30～15:00

〈場 所〉生きがいごとサポートセンター神戸東(ワラビー)

〈講 師〉村上 義弘(ワラビー 専門相談員)

〈参加費〉1,000円

※問合せは、ワラビー(電話078-841-0387)まで

【小ホール主催の教室】

“脳健康教室” 第7期生募集!

(実施期間:2009年5月～2009年10月)

読み書き・計算で脳の健康維持(認知症予防)・増進! 06年5月からスタートした東灘区民センター小ホールの脳トレ教室は3年が過ぎました。読み書き(音読)・簡単な計算の教材を使って継続的学習すると、脳の前頭前野が活性化され高齢者の認知症予防に効果があるという東北大学の川島隆太教授の研究結果を基に行っています。

現在、約20名が元気に通い、学習されています。

学習期間は1期間、6ヶ月として6ヶ月間で「読み書き計算」の習慣を身に付けてもらっています。

〈期間〉5月～10月(6ヶ月)月4回の毎週金曜日

〈時間〉午前9:20分～11:30分の中で40分間

〈場所〉東灘区民センター小ホール(魚崎小学校南側)

〈内容〉読み・書き・計算の簡単なプリント学習

〈費用〉月3,150円(教材費等1,575円含)

〈対象〉65才以上の通える方

※問合せは、小ホール(電話078-453-0151)まで



会費・寄付・寄贈をいただき、ありがとうございました

(期間 08年12/22～09年4/21、いずれも順不同・敬称略)

※トータルケアシステムは別枠で取扱っています。

【会 費】梅木利恵、大島勝子、岡田雅幸、岡本仁宏、狩野仁未、小竹吉明、佐々木圭、菅 祥明、飛田敦子、松元隆平、村上義弘、安元邦夫、弓削 一、生活協同組合コープこうべ

【寄付・寄贈】石川両一、梅木利恵、国枝哲男、菅 祥明、中村順子、飛田敦子、藤原 航、村上 義弘、花王株式会社、株式会社ジェーシービー、NPO法人にじのかけ橋、NPO法人誕生日ありがとう運動本部

2009年度の会員継続および新規会員を募集いたします!

市民活動を共に支えて下さる賛助会員(個人・団体)の方々を募集しております。機関誌の定期配送や関係図書の特典、会員交流会をご用意しています。

【会 費】個人会員 3,000円/年、団体会員 10,000円/年

【振込先】名義 特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸 口座 00950-2-144205

編集後記

六甲山のくすんだ山鳩色の山並みに、桜色がまばらに注したかと思えば、今はもう鮮やかな萌黄色が目立つようになりました。まちなかでも色とりどりの花々、緑が濃くなり、初夏の日差しに早速日焼けをしました… 季節の変化を肌で感じ、風情を忘れない心のゆとりを大切にしたいと思います。 R